

地域の皆さんに支えられて健康友の会みみはらは、2024年11月17日 40周年を迎えます

# 「友の会の40年を振り返り、未来を展望する」(仮) <第1回>

1984年11月、「耳原友の会」は1402世帯の会員でスタートしました。40年の歴史を、証言や懐かしい写真などで振り返っていきます。第1回は、友の会結成までの年表と1988年当時の会員証や会則です。

古い友の会グッズや写真がありましたら、「とも」編集部までお送りください。送り先はクイズと同じです。お送りいただいた写真などは、お返ししますので、よろしくお願いたします。

## 健康友の会みみはら結成まで

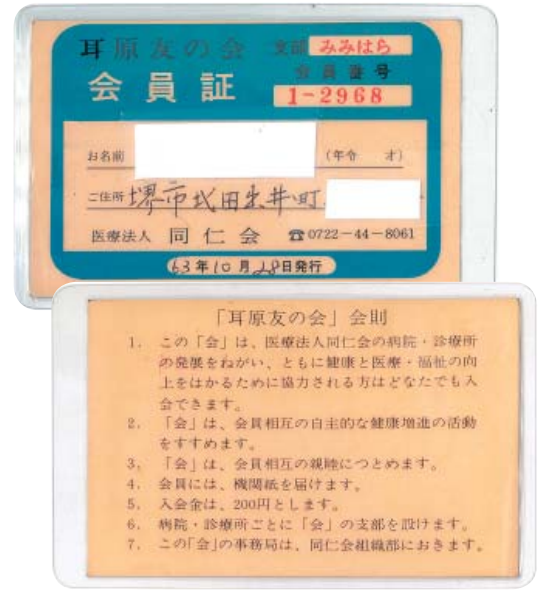
- 1949年12月 耳原健康を守る会が組織
- 1950年2月 耳原実費診療所創設
- 1953年11月 耳原病院開設 (54床)
- 1958年11月 医療法人同仁会 (財団) 設立
- 1960年5月 鳳診療所開設 (鳳東町)
- 1962年11月 鳳分院開設 (68床)
- 1964年11月 南花田診療所開設
- 1965年2月 耳原病院、総合病院として認可
- 1983年1月 同仁会に組織課開設
- 1983年9月 耳原友の会機関紙「友」創刊
- 1984年11月17日 耳原友の会設立総会 (設立時1402世帯)



耳原友の会設立総会(1984年11月17日)



「友」創刊号



1988年発行の会員証と会則(裏面)

## 1984年ってどんな年

- 福沢諭吉の新1万円札、スタート
- グリコ森永事件・ロス疑惑
- 内閣総理大臣 中曽根 康弘
- サラエボ冬期オリンピック
- ロスアンゼルスオリンピック開催

昨年12月8日、フリージャーナリストの西谷文和さん(イラクの子どもを救う会代表)を講師に招いて、学習会を開催しました。オンライン参加も合わせ、30人以上の参加がありました。

一教会、現在の自民党政権や大阪府政まで、多くのテーマについてお話ししていたきました。なかでも印象に残っているのは、戦争についてです。ウクライナでは、まだまだ戦争が終わる気配はなく、日本では「増税によって防衛費を調達する」と岸田総理は述べています。医療・介護・子どもにはお金を使わな

## 武器にお金を使う政府に疑問

## 西谷文和さん(イラクの子どもを救う会代表)を招いて学習会



(核兵器廃絶鳳キヤンペーン)では、様々な取り組みで核兵器廃絶、

いのに、武器にはお金を使う政府の姿勢には疑問が残りました。

反戦の活動を続けていきたいと思えます。(OCAN事務局 春川智弘)

## 齊藤所長(みみはら高砂クリニック)が 湊西支部 たまり場で懇談会 人が動くと感染が起こる



昨年12月6日、みみはら高砂クリニック所長の齊藤和則先生が、湊西支部のたまり場に来てくれました。湊西支部の地域は、みみはら高砂クリニックの患者さんも多く、

会員さんからの要望で実現しました。西湊町の船待神社は、瘡蓋(かさぶた)の神様として古くから親しまれていたことや、人々が流行り病に苦しみ、脅威とたたかってきた話に思いを馳せながら、聞き入りました。

「人が動く、どうなりますか?」との質問に対する答えは、「感染が起こる」ということでした。「人が動くと、菌も一緒に移動し、変異しながら生き延びていく」とのことでした。「私の老後のテーマは、『戦争と感染症の関係』です、もう老後です」

(事務局)